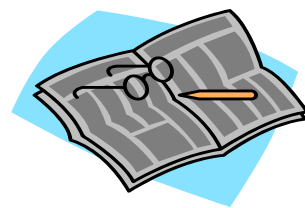


## 5.1 新聞資料の特徴

最近話題の事件、あるいは過去の世相などを探索する場合、新聞は有効な情報源となります。たとえば、ある事実が起こったかどうかという事実確認や、ある人物に関係した情報を集める場合などに活用することができます。また、あるテーマに関する情報を広く集め、そこから新たな問題提起をする場合にも活用可能です。新聞は、過去から現在にかけての多様な社会情報を日々記録しているメディアなのです。

また、見過ごされがちですが、新聞を発行している各新聞社には、それぞれ個性があります。マスコミュニケーション・メディアである新聞は、その公共的情報供給者としての面から、記事内容は中立性を保っているように思われがちです。しかし、同じひとつの事件であっても、新聞社あるいは記者によって、問題への取り組み姿勢、記事のまとめ方・見解などの相違により、記事の内容が異なってくるものです。同じ事柄に関する記事であっても、複数の新聞を読み比べてみることにより、さまざまな見方・考え方を知ることができます。

さて、新聞をイメージしてすぐに思いつくのは、報道記事を掲載し毎日刊行される一般紙だと思います。しかし、新聞にはほかにもさまざまな発行形態や内容、収録メディアのものがあり、それぞれに特徴があります。新聞記事を探そうとする場合は、まずその新聞メディアの特徴を知っておくことが大切です。



### 5.1.1 新聞の種類

#### (1) 発行形態による区分

日本全国に販売拠点を持つ全国紙と、特定地域で販売される地方紙の、2種類の発行形態があります。ただし、地域に密着した記事内容を探索する場合であっても、地方紙だけではなく全国紙の地方面も有用な情報となる場合があります。

- **全国紙** : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞など
- **地方紙** : 河北新報、北海道新聞 など

## (2) 内容による区分

全分野の内容を偏りなく掲載している一般紙と、それぞれの分野に特化した紙面で構成している専門紙の、2種類の内容に分けられます。

- 一般紙 : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、河北新報 など
- 専門紙 : 日本経済新聞、日刊工業新聞 など

## (3) 収録メディアによる区分

新聞本紙は紙質が悪いため保存に向いておらず、また、記事検索用の索引もありません。そのため新聞は、さまざまなメディアに変換して提供されています。

メディアの種類	特徴
本紙（原紙）	速報性が優先。メディアの保存や記事検索ともに不向き。
冊子体（縮刷版）	本紙を縮小して月単位で印刷した保存用の冊子体。記事索引がついているものもある。
マイクロフィルム	本紙を縮小撮影したもの。保存によいが、閲覧には専用機器が必要。検索にはほかのツールが必要。
CD-ROM	記事検索に優れる。ただし、写真や広告など本紙全面は収録していないことが多い。
オンラインデータベース	複数年や複数紙の同時記事検索が可能なものもある。写真などは収録していないことが多い。
無料ウェブサイト	もっとも速報性が高いが、本紙紙面とは別記事である。過去の記事を参照できない場合も多い。

図表 5-1 メディアの特徴

### 5.1.2 記事内容の種類

新聞は、毎日の報道記事のほかにも、社説、地方面、文化欄、相場欄、コラム、インタビュー、漫画、広告などさまざまな内容を掲載しています。しかし、本紙以外のメディアでは、それらを収録していない場合もあります。それぞれのメディアを利用する際には、説明書や凡例をよく読んで確認してください。

### 5.1.3 目的による使い分け

新聞を利用しようとする際は、その利用目的に応じて、これまで述べた種類のものを使い分けることが大切です。

目的例	利用ツール例
今月の最新記事を探す	本紙、オンラインデータベースなどを利用。最近の記事の確認には、無料ウェブサイトの検索も有用。
戦前の古い記事を探す	最近は古い資料も電子化してきているので、まず使い勝手のよいCD-ROMの有無を確認。ほかには冊子体などを利用。
図表や写真などを探す	オンラインデータベースなどで日付を特定し、本紙、縮刷版、マイクロフィルムなどを利用。CD-ROMでは未収録が多い。
地方関係の記事を探す	地方紙やマイクロフィルムを利用。全国紙は本紙以外のメディアでは地方面を収録していない場合もあり注意が必要。
複数新聞の記事を探す	横断検索できるオンラインデータベースを利用。

図表 5-2 目的別利用ツール



#### まめちしき 新聞の速報性

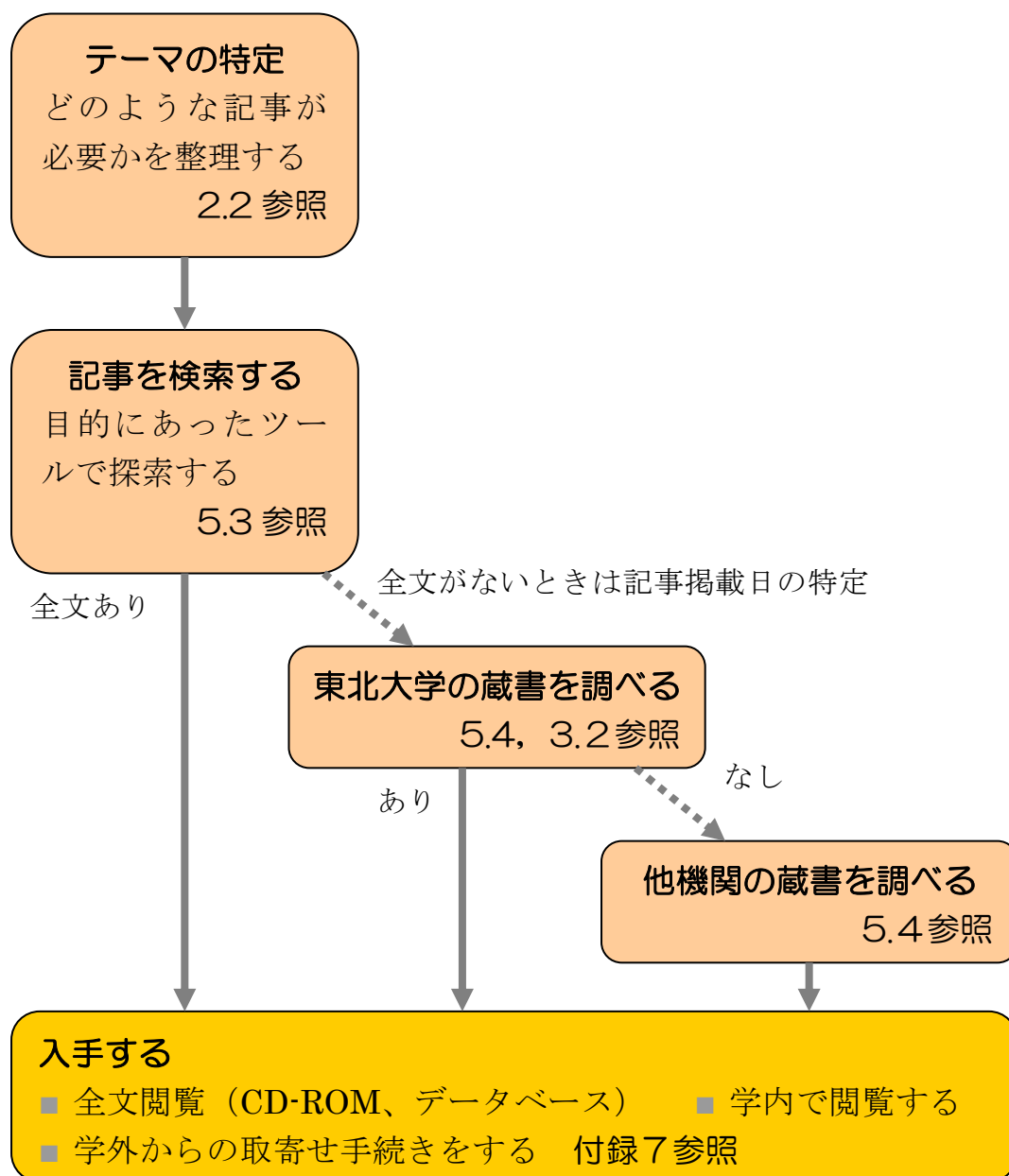
一般的に、ある出来事がおきた場合、その情報をいち早く、広く報道するメディアはテレビかラジオです。そしてその情報を印刷物として記録し、出版するのが新聞です。その後、情報は時間の流れとともに「新聞」→「雑誌」→「図書」の順番で印刷物として記録され、後世に参照できる形式で保存されていきます。

しかしこのような慣習も、ウェブの普及と情報環境の変化により、現在は変貌してきています。事件などの情報は、新聞よりも、場合によってはテレビやラジオよりも早くウェブサイトが報道しています。そしてその情報は後日も検索可能なうえ、新聞のような休刊日もありません。

情報環境が変わりつつある現在、情報を利用する側は、その目的や状況に応じてメディアを使い分けていく柔軟性が必要となってきました。

## 5.2 新聞記事入手までの手順

新聞記事を入手するにはまず、記事が掲載された紙名と日付を特定する必要があります。それから所蔵を調査し、利用の手続きをします。ただし CD-ROM やデータベースなど、検索結果からそのまま全文を閲覧できるツールもありますので、入手手順は一樣ではないことに注意してください。また、本紙についてはオンライン目録で検索できない場合もありますので、カウンターでお尋ねください。以下は、基本的な入手手順です。



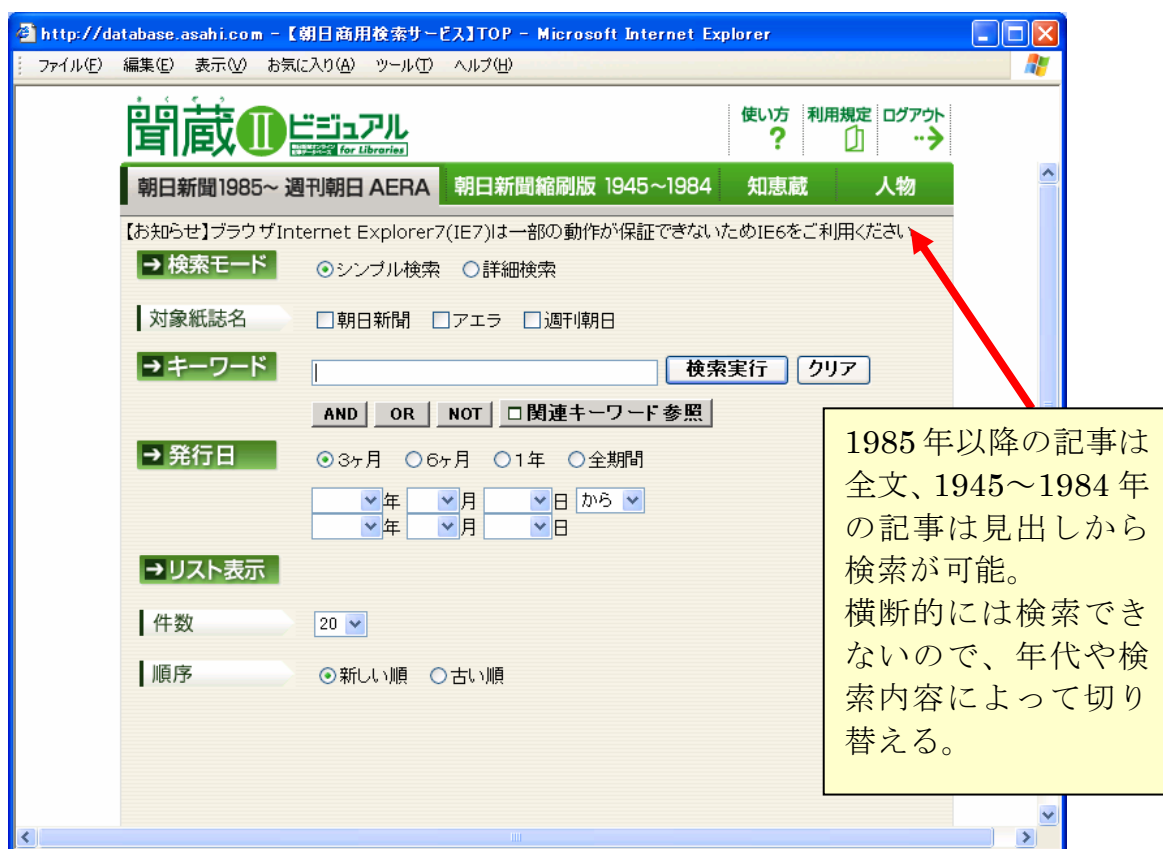
図表 5-3 新聞記事入手の基本的な手順

## 5.3 大学内から利用できる主な新聞記事探索ツール

ここでは本学で利用できる探索ツールとして、オンラインデータベース、CD-ROM、無料ウェブサイト、冊子体それぞれについて、主なものを紹介していきます。

### 5.3.1 オンラインデータベース

- 『聞蔵(きくぞう)Ⅱ ビジュアル for Libraries』 朝日新聞社  
〈<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/dna/>〉 学内限定  
朝日新聞のオンライン記事データベースです。1945年以降現在までの記事が検索でき、1945～1984年の記事は紙面イメージで、2005年11月以降の記事は切り抜きイメージでの閲覧が可能です。同社発行の週刊誌の記事も収録されていて、『知恵蔵』（7.2参照）や『人物データベース』（7.3.1参照）も検索可能です。



図表 5-4 『聞蔵Ⅱ』 シンプル検索画面

- 『KD（カーデー）河北新報データベース』 河北新報社  
 <<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/kd/>> 学内限定  
 1991年8月以降の河北新報掲載記事が検索可能です。そのほか、戦後東北の選挙記録を収録した選挙データベースなども収録されています。

通常の記事データのほかに、企業データ、選挙データ、夕刊速報、お悔やみ情報等を選択することができる。  
 また、記事と企業と選挙データについては、横断検索機能も用意されている。

図表 5-5 『KD』エキスパート検索画面

- 『日経テレコン 21』 日本経済新聞社  
 <<http://telecom21.nikkei.co.jp/>> 有料：本館 RC  
 全国紙・地方紙を含め、多数の新聞を横断検索できます。ただし収録年はそれぞれ異なります。例えば日経新聞は、全文は 1981 年 10 月以降の分を収録しています。利用は図書館員による代行検索となります。
- 『The Times Digital Archive』 1785-1985 Thomson Gale  
 <<http://infotrac.galegroup.com/itweb/tohoku/>> 学内限定  
 『The Times』の 1785 年から 1985 年までの記事がオンライン上で検索、閲覧できます。

**例題** 2006年の冬季オリンピックで金メダルを獲得した荒川静香さんの、プロ転向に関する記事を探す。

**回答例**

①

河北新報のデータベースを検索すると、該当記事が27件見つかる(2007.2.27現在)。  
2005年以前の関係のない記事も見つかるので、年を指定する場合は「Expert」検索を使用する。

図表 5-6 『KD』検索画面

②

同じ検索語で、検索期間を2006年以降と指定して朝日新聞を検索すると5件見つかる(2007.2.27現在)。  
さまざまな新聞、さまざまな年を調査することにより、多角的なデータを入手することが可能となる。

図表 5-7 『聞蔵II』検索画面

### 5.3.2 CD-ROM

- 『日経全文記事データベース』 日本経済新聞社 1990～：本館 RC  
日本経済新聞の記事本文を収録し、1年分が CD-ROM1枚になっています。ただし、写真や図表などは収録していません。
- 『CD-HIASK：朝日新聞記事データベース』 朝日新聞社 1985～2001：本館 RC  
朝日新聞の記事本文を収録し、1年分が CD-ROM1枚になっています。ただし、写真や図表などは収録していません。現在は前述の『聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries』でも検索可能です。
- 『戦後 50 年朝日新聞見出しデータベース』 朝日新聞社 1945～1995：本館 RC  
朝日新聞縮刷版の巻頭記事索引をデータベース化したものです。本文は収録していません。現在は前述の『聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries』でも検索可能です。
- 『明治の読賣新聞』 読売新聞社 1874～1912：本館 RC
- 『大正の読賣新聞』 読売新聞社 1912～1926：本館 RC
- 『昭和の読賣新聞：戦前 1』 読売新聞社 1926～1936：本館 RC  
本紙をそのまま画像データベースとしているので、図表なども閲覧可能となっています。





### 5.3.3 無料ウェブサイト

新聞記事を検索できるウェブサイトを利用する場合は、検索対象がウェブ版の記事なのか、あるいは本紙印刷版の記事なのかを確認してください。これらは別内容のものであるので、区別して利用する必要があります。もしウェブサイトで探し出した記事の本紙で閲覧したいときは、掲載日付を確認しましょう。

#### (1) 国内

- 『日経 goo』

<<http://nikkei.goo.ne.jp/>>

日経 4 紙過去 1 年間の本紙印刷版記事が検索可能です。本文は有料ですが、見出しまでは無料です。

- 『MSN 毎日インタラクティブ』

<<http://www.mainichi-msn.co.jp/>>

過去 1 ヶ月分のウェブ版記事が無料検索可能です。

もし、調べたい新聞記事がごく最近のものである場合は、各新聞社のウェブサイトよりもサーチエンジン（ポータルサイト）のニュースページが便利です。そこでは、多くの新聞社や通信社のウェブ配信記事をカテゴリーごとに通覧できます。

- 『Yahoo! JAPAN ニュース』

<<http://headlines.yahoo.co.jp/>>

- 『goo ニュース』

<<http://news.goo.ne.jp/>>

- 『excite ニュース』

<<http://www.excite.co.jp/News/>>

過去一週間、33 社の記事が横断検索可能です。

- 『Google ニュース 日本版』

<<http://news.google.com/news?ned=jp>>

## (2) 国外

### ■ 『Google News』

<<http://news.google.com/news?ned=us>>

インターネット検索サイトとしても有名な Google が、世界中約 4,500 以上の新聞やテレビ等ニュースサイトから自動収集し、独自の分類と重み付けをした英文記事を提供しています。国ごとに異なるサイトがあります。

### ■ 『Dialog Select Open Access』

<<http://openaccess.dialog.com/business/>>

アメリカ全国紙の記事が一括検索可能です。見出しまでは無料ですが、本文は有料です。

### ■ 『New York Times』

<<http://query.nytimes.com/search/advanced/>>

創刊年から見出しを無料で検索できます。本館書庫には、本紙マイクロフィルム版（1851-1982,1990）と索引（1851-1982）も所蔵しています。

### ■ 『Washington Post』

<<http://www.washingtonpost.com/wp-adv/archives/>>

1877 年以降の記事検索が可能です。

### ■ 『図書・雑誌探索ページ』 実践女子大学図書館

<<http://www.jissen.ac.jp/library/frame/>>

広範囲、多分野の情報を集めたリンク集です。新聞記事を検索できるサイトについても、世界中の主要なオンライン新聞を紹介しています。

3.4 まめちしき参照



### 5.3.4 冊子体

データベースなどで手軽に検索できない年代の新聞は、冊子体の探索ツールを利用することになります。また、冊子を通覧する方法は、データベースで検索語によって探す方法に比べ、思いがけない関連記事を見つけだす可能性もあります。ぜひ一度手に取ってみてください。

- 『朝日新聞記事総覧』 大正前期編，大正編，昭和編，平成編 1985～1999：本館 RC

朝日新聞（東京）縮刷版巻頭の記事索引を集成したものです。同様に、朝・夕刊最終版に掲載された記事の索引として、毎日新聞社の『毎日ニュース事典』（1973～1980）や、読売新聞社の『読売ニュース総覧』（1980～1994）などがあります。それぞれ、事項や人名などさまざまな索引で検索することができます。

- 『明治ニュース事典』 明治ニュース事典編纂委員会，毎日コミュニケーションズ出版部編集制作 1983～1986：本館 RC

当時の主な新聞などから記事を採録したものです。事項別、分類別、年次別の索引があります。同様に『大正ニュース事典』、『昭和ニュース事典』も所蔵しています。

- 『新聞集成明治編年史』 中山泰昌編著；新聞集成明治編年史編纂會編纂 1934～1936：本館書庫 [I11A3-11/メ1]

当時の主要な新聞記事を集めた集成版です。同様な資料として、加藤秀俊ほか編の『新聞集録大正史』や、入江徳郎ほか編の『新聞集成昭和史の証言』なども、本館で所蔵しています。



#### まめちしき 最終版とは？

毎日大量に発行され、全国各地に配達される全国紙は、印刷途中で記事の差し替えが起こることがあります。そのため、同一出版日でも地域により記事内容が異なる場合があります（新聞本紙の上部に、第何版かが表示されています）。検索ツールの収録記事は、原則として最終版を基にしています。

**例題** 明治45年（1912）に大西洋で沈没したタイタニック号の日本人乗船者名と、生還後のインタビュー記事を探す。

**回答例**

①

大蘇芳年（たいそよしとし，月岡米次郎）  
 ①541d, ②55d, ③366a, 595c, ④404a  
 大隊営所 ①329d  
 大隊区司令部条例 ④789c  
 大陸排斥同盟 ⑥85d  
 タイタニック号 ⑩6c  
 タイタニック号生存者の顛末書 ⑩41d  
 タイタニック号沈没 ⑩418d  
 タイタニック号沈没の顛末 ⑩420a  
 第一銀行券流通禁止 ⑩267d

『明治ニュース事典』および『新聞集成明治編年史』の索引を「タイタニック」で検索すると、日本人乗船者名は判明するが、インタビュー記事は見つからない。

図表 5-8 『明治ニュース事典』事項別索引

②

検索画面 M00 1874(明治7)年11月~1912(明治45)年7月

キーワード入力  
 前方一致 後方一致 タイタニック  
 前方一致 後方一致  
 前方一致 後方一致  
 前方一致 後方一致

掲載日指定  
 明治 年/月/日 07/11/02 ~ 年/月/日 45/07/31

発行形態  
 全体  朝刊  付録  号外

ページ  
 0 ページ

分類  
 全体  政治  経済  国際  
 社会  事件・事故  文化  科学  
 生活  スポーツ  皇室

全項目クリア 数値項目クリア 絞り込み解除 検索結果再表示 終了

『明治の読賣新聞』CD-ROMを検索すると、写真とともにインタビュー記事が見つかる。  
 このように複数のメディアでの探索が有効。

図表 5-9 『明治の読賣新聞』検索画面

## 5.4 新聞の所蔵検索

新聞の所蔵を探す手順は、基本的に3章の図書・雑誌の探し方と同様です。まず、学内外のオンライン目録で探してください。新聞の場合は、オンライン目録で所蔵を確認できない場合が多いので、冊子体ツールなどでの調査も必要です。

また、最新の新聞本紙の所蔵については、図書館カウンターに問い合わせてください。

- 『全国新聞総合目録データベース』 国立国会図書館  
 <<http://sinbun.ndl.go.jp/>>  
 国内の公共図書館、大学図書館、地方公共団体などの所蔵を確認できます。マイクロフィッシュや縮刷版、復刻版、電子資料まで収録しています。同様の冊子体ツールである『全国複製新聞所蔵一覧』は、本館 RC で所蔵しています。
- 『東北地区大学図書館所蔵新聞目録』 第2版 東北地区大学図書館協議会編 1987：本館 RC
- 『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』 東京大学法学部明治新聞雑誌文庫編 東京大学出版会 1977：本館書庫 [UP15/024]

**例題** 昭和31年の「河北新報」所蔵館を探す。

**回答例**

順位	所蔵機関	所蔵形式	所蔵年次
1	0005 青森県立図書館	P	昭61.1~平5.9
2	0752 河北新報社	N	明30.4~昭19.12,昭28.9~昭
3	0752 河北新報社	P	明30.1~昭62.6
4	1303 東北学院大学中央図書館	P	明30.1~昭36.12
5	0433 東北大学附属図書館	P?	昭31.1~平9.12
6	0435 宮城教育大学附属図書館	P	大15.11~昭61.12
7	0753 宮城県議会事務局調査課	N	昭26.1~昭58.12
8	0007 宮城県図書館	MN	明30.1~平7.6

『Online Catalog』で検索しても該当年のものはヒットしない。しかし、『全国新聞総合目録データベース』で調べると、マイクロフィルムを東北大でも所蔵していることがわかる。

図表 5-10 『全国新聞総合目録データベース』検索結果

参考までに本分館 2007 年の本紙所蔵状況を下表にまとめました。保存期間は各館により異なりますが、おおよそ半年から一年程度です。

専門紙などは各研究科等で購入している場合もありますので、図書館カウンターに探索法を問い合わせてください。

タイトル	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館
朝日新聞	○	○	○	○	○
科学新聞			○		○
河北新報	○	○	○	○	○
産経新聞	○				
スポーツニッポン				○	
スポーツ報知	○				
日刊スポーツ	○		○		
日刊工業新聞	○			○	
日経産業新聞	○				
日本経済新聞	○	○	○	○	○
日本農業新聞					○
Fuji Sankei Business i	○			○	
毎日新聞	○	○	○	○	○
読売新聞	○	○	○	○	○
BOLA	○				
China Business Weekly	○				
China Daily	○				
Guangming Daily	○				
International Herald Tribune	○		○		
KOMPAS	○				
TAIWAN Journal				○	
The Japan Times	○	○		○	○
韓国日報				○	
人民日報				○	
台湾週報				○	
朝鮮日報	○				

図表 5-11 本紙の所蔵状況一覧

## 5.5 新聞の出版情報

新聞にはさまざまな種類があるということを、ここまで説明してきました。ここでは、どのような新聞が出版されているのか調べるツールを紹介します。

- 『雑誌新聞総かたろぐ』 メディア・リサーチ・センター  
1979～：本館 RC ほか  
22,000 点以上の国内雑誌・新聞などを収録しており、タイトル、分野、発行所などの索引があります。毎年最新版が発行されています。
- 『日本新聞雑誌便覧』 日本新聞雑誌調査会 1966～2001：本館 RC ほか  
新聞雑誌関係の出版社などを分野ごとに関し、各社ごとのタイトル説明などを掲載しています。
- 『世界 CD-ROM 総覧』 ペンローグ 日外アソシエーツ  
1989～2001：本館 RC  
日本および海外の新聞を含む CD-ROM が分野ごとに収録されています。
- 『Ulrich's Periodicals Directory』 Bowker：本館 RC・医分・工分ほか  
世界各国の雑誌・新聞などを収録しており、タイトル、分野、出版者などの索引があります。



### まめちしき 情報の信頼性

新聞の特徴の一つとして速報性があります。これは、早く出来事を伝えるという効力があるのと同時に、事実関係の裏付けが正確ではない場合もありうることを意味します。

よって、事実調査に新聞を活用するときは、複数の新聞記事で情報を確認し、事実が起きた数日後の紙面も参照する必要があります。また、新聞以外のメディアによる記事も併せて調査してください。可能なかぎり多様な角度から調べることで、情報を検証することが大切です。

## 演習問題

**5-1** 東北大学で名誉博士号を取得した田中耕一氏について、朝日新聞に掲載された授与式後の写真と新聞記事を探す。

(『聞蔵Ⅱ』を使う)

ヒント：データベースだけでは写真は探し出せない場合が多い。複数のツールを利用する。

**5-2** 仙台初売りに関する最近の経済記事を探す。

(『日経 goo』で日経四紙の記事を探す)

ヒント：検索語に注意。

**5-3** 東北大学附属図書館に寄贈された斎藤家文書に関する記事を探す。

(『聞蔵Ⅱ』と『KD』でヒット件数を比べてみる)

ヒント：検索語に注意。

**5-4** 明治30年の『河北新報』所蔵館を調べる。

(『Online Catalog』『全国新聞総合目録データベース』を使う)

ヒント：ツールによっては所蔵確認できない場合もある。

解答と解説は、付録8にあります。